



静岡県立観音山少年自然の家 所長 寺田 容子

ここ数年、利用者の減少が続いた本所ですが、本年度は約 22,000 人という多くの皆様にご利用頂くことができました。これは昨年度から約 1.5 倍の増加となり、久しぶりに山に活気が戻った一年となりました。新型コロナウイルス等の感染症対策や、暑さや寒さ、大雨といった予測が難しい気象状況への対応等、安全な活動の実現に向けて、指導者の皆様の格段のご配慮やご尽力、送り出してくださるご家庭の方々の御理解や御協力に心より感謝申し上げます。年齢を問わず、本所での野外体験活動を通して、子ども達と自然が一体となって生まれた数々のドラマや感動、素敵な表情を見守ることができ、改めて野外教育施設としての役割や体験活動の魅力を感じているところです。

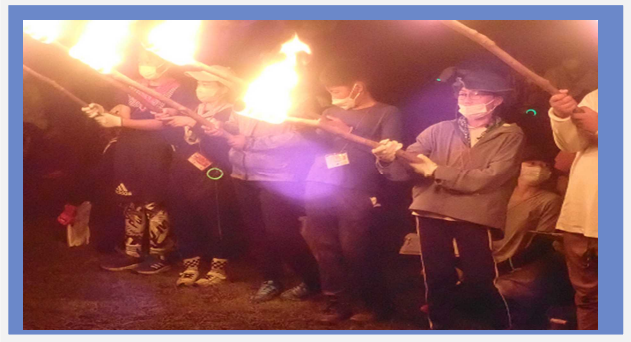
さて、1973 年（昭和 43 年）に開所した観音山少年自然の家は、この 4 月に 50 周年を迎えます。この間の来所者数は、延べ 2,050,600 人、利用団体数は 9094 を数え、全国に先駆けて建設された社会教育施設としての長い長い歴史を感じます。最近では「小学校の時に自然教室で来た。今日は自分の子どもを連れてくることができ嬉しい。景色や建物が懐かしい。」と親子二代に渡って本所を訪れる方も増えています。開所以来「自然回帰」「自然の中での感動体験」を軸として、不便な自然の中だからこそ体験できる手間暇や苦労、そして困難を乗り越えてこそ味わうことができる感動体験を大切にしてきました。バスから降り、荷物を背負いながら麓から上がってくる子ども達を観音山の自然と共に迎え、夢の坂を下る後ろ姿に向かって、姿が見えなくなるまで「さようなら」「元気でね」と見送り続けて 50 年。間接体験、疑似体験が増える中、直接体験の良さや、自然活動の魅力を、多くの方々に味わっていただけるよう、これからも所員一同力を合わせて励んでまいります。皆様の御利用を心からお待ちしております。

静岡県立観音山少年自然の家

〒431-2201 静岡県浜松市北区引佐町東久留女木字観音山
TEL(053)545-0111 FAX(053)545-0363
URL:<http://kannyama-shizuoka.jp/>

主催イベントの様子

令和4年度は、天候不良で中止となった1イベントを除き、計画通り実施することができました。コロナ禍の影響により2年ぶり、3年ぶりの実施となるイベントも多く、感染症対策を講じながら、自然の中での体験活動を楽しむ姿がみられました。多数の御応募、御参加ありがとうございました。



冒険王国 in 観音山 みんなで作ろう 創造力は無限大∞

令和4年8月8日(月)～12日(金)

参加者より

「あきらめないでチャレンジすることで成長できることを知った」(5年生)

「みんなと力を合わせればできないことはないを知ったから、これからも活かしていきたい。」(6年生)

「いろいろな年代の方と交流する機会が増えてよかった。自然体験は子どもの成長に必要なだと思う。自然体験を通じて、一生の思い出に残る体験ができた。」(参加保護者)

アドベンチャーキャンプ 積極的に関わろう～友達・自然～

令和4年11月19日(土)～20日(日)



参加者より

「初めて会った子達と仲良くなれた。協力は大事。」

「いろいろなミッションで歩いたり、自然を感じられたりしたから、楽しかった。」

もりもりキャンプ 仲間と共に、レベルアップ～ヒーローは君だ～

①令和5年2月25日(土)～26日(日)

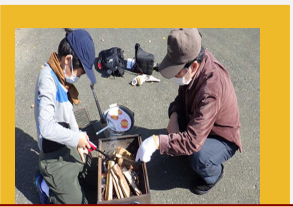
②令和5年3月4日(土)～5日(日)



ファミリー向けイベント



門松作りに挑戦!



火おこし・飯ごう体験



観音山ハイキング



焼き杉クラフト



わくわくホリデー



参加者より

- 「小学校の時以来久しぶりに来ました。なかなか経験できない体験ができてよかったです。」
(12月ファミリーデー 門松づくり参加ファミリー)
- 「子どもにとってなかなかできない体験でした。植物の説明などをしてもらいながら、案内してもらえて、とても勉強になりました。」
(2月 観音山ハイキング参加ファミリー)
- 「蛇紋岩、ビューポイントの眺望、やまびこ、暮れていく夜空等、様々な楽しみがあり、昼間とは違った雰囲気を楽しめた。」
(9月 夜間ハイキング参加ファミリー)
- 「バーナーで杉を焼く体験は初めてでドキドキしました。親子そろって楽しめました。」
(2月 わくわくホリデー参加ファミリー)



夜間ハイキング



子どもフェスティバル



リーダー育成研修 アウトドア教室

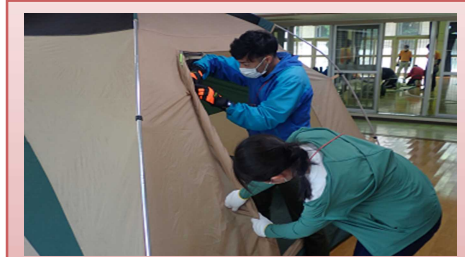
参加者より

- ・初対面の人とも励まし合いながら歩き切り、隊の絆が深まった。
(高校1年生)
- ・のこぎり等使ってクラフトを作り、楽しかった。(中学3年生)
- ・キャンドルの集いは、自分たちで作上げた満足感があつた。
(中学2年生)



初級青少年指導者育成研修「アウトドア教室」や青少年野外教育スタッフ養成事業「リーダースクールin 観音山」では、中高生から大学生・社会人まで多くの参加者たちが野外活動の知識や技能を学びました。

また、研修期間中の体験活動を通して、「参加者同士の連帯感や仲間意識の向上を実感した。」という感想も多く聞かれました。



リーダースクールin 観音山